

人妻スパイとマフィアの息子 ①




水無月三日





いつかはこうなると
覚悟はしていたが…



やめてっ…
うっ…ぶっ…



いやあっ
んんっん

ぶっんっ…
やめっんんー

これがスパイの妻を
持つということなのか…



どう？
そのキムチ：
自信作なんだけど



う、美味い：
しかもご飯に
めっちゃ合う！



コードネームニードル

諜報機関MI7所属
潜入・暗殺のエキスパート





女であることを
武器にせず
卓越した身体能力で
任務を完璧にこなす
組織内で最強の
エージェント



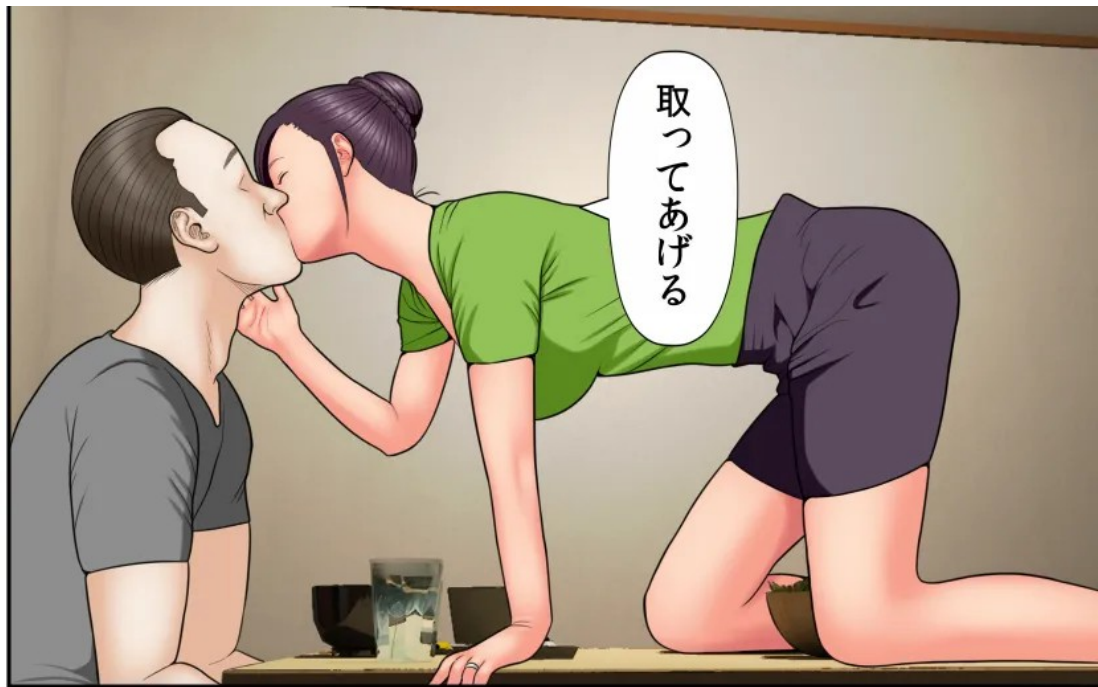
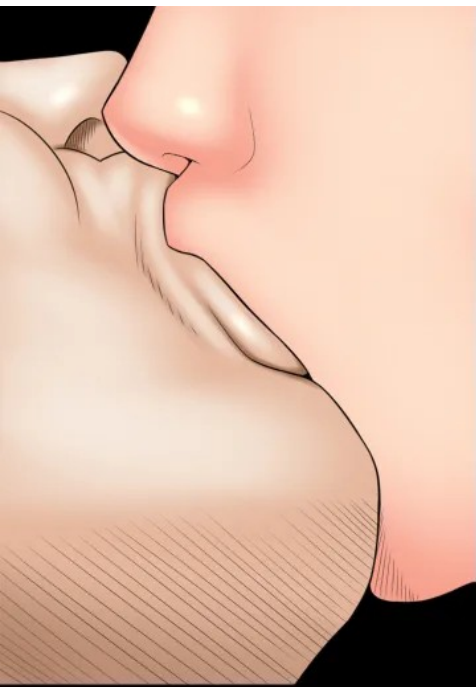
元々は俺の
バディだったが…



ハハハツ…
ジャツク
こめつぶつけて
そんな真面目な
顔しないでよ

猛アタックをして
くどき落とした

えっ
どっ?



取ってあげる



最初は冷たく
あしらわれ
何度も半殺しに
あったが……

妻は押しに
弱かった

あっ

あっ

あっ

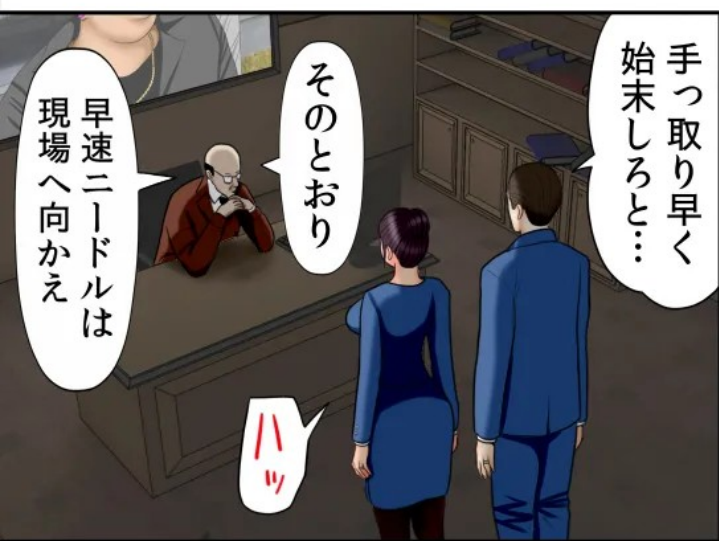


こいつが
今回の
ターゲットだ



ミケーレ・ルチアーノ
イタリア系マフィアのドン

長らく行方を
くらませていたが
ようやく居場所を
特定できた



手っ取り早く
始末しろと…

そのとおり

早速ニードルは
現場へ向かえ

ハッ



麻薬・武器の密売
人身売買まで手がける
言わば犯罪の
総合商社のトップだ

捕まえるのもいいが
警察との癒着も
確認されていて
色々と面倒だな…



ボス…俺も同行
させてください
彼女一人じゃ
危険です

ダメだ
先の任務で
脚を負傷した
ばかりだろ



お前は彼女の
バックアップに
まわれ



こんな奴
私一人で十分よ
ビショツプ：



バックアップなんて
必要ないわ

し、しかしっ



それもダメだ
危険な相手だ
あることには
変わりはない

ニードルは必ず
無線とスマート
コンタクトレンズを
装着しろ
場所はホテル
『ヘラルド』
以上だ。



はあ、
無線指示なんて
つまんねえよ

潜入したわ





あのなあ…
そんな色っぽい
格好して
捕まったら
どうするんだ

仕方ないでしょ
文句言うなら
ここのホテルに
言っっちゃおうだい

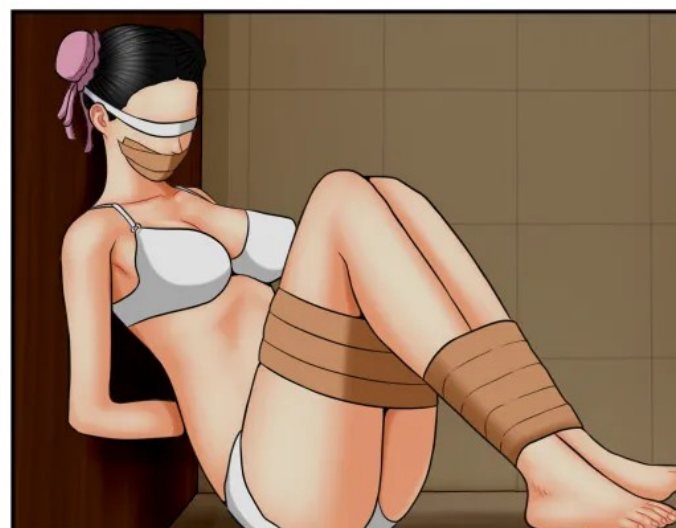
お前なら
変装なんて
しなくても
殺れるだろ！

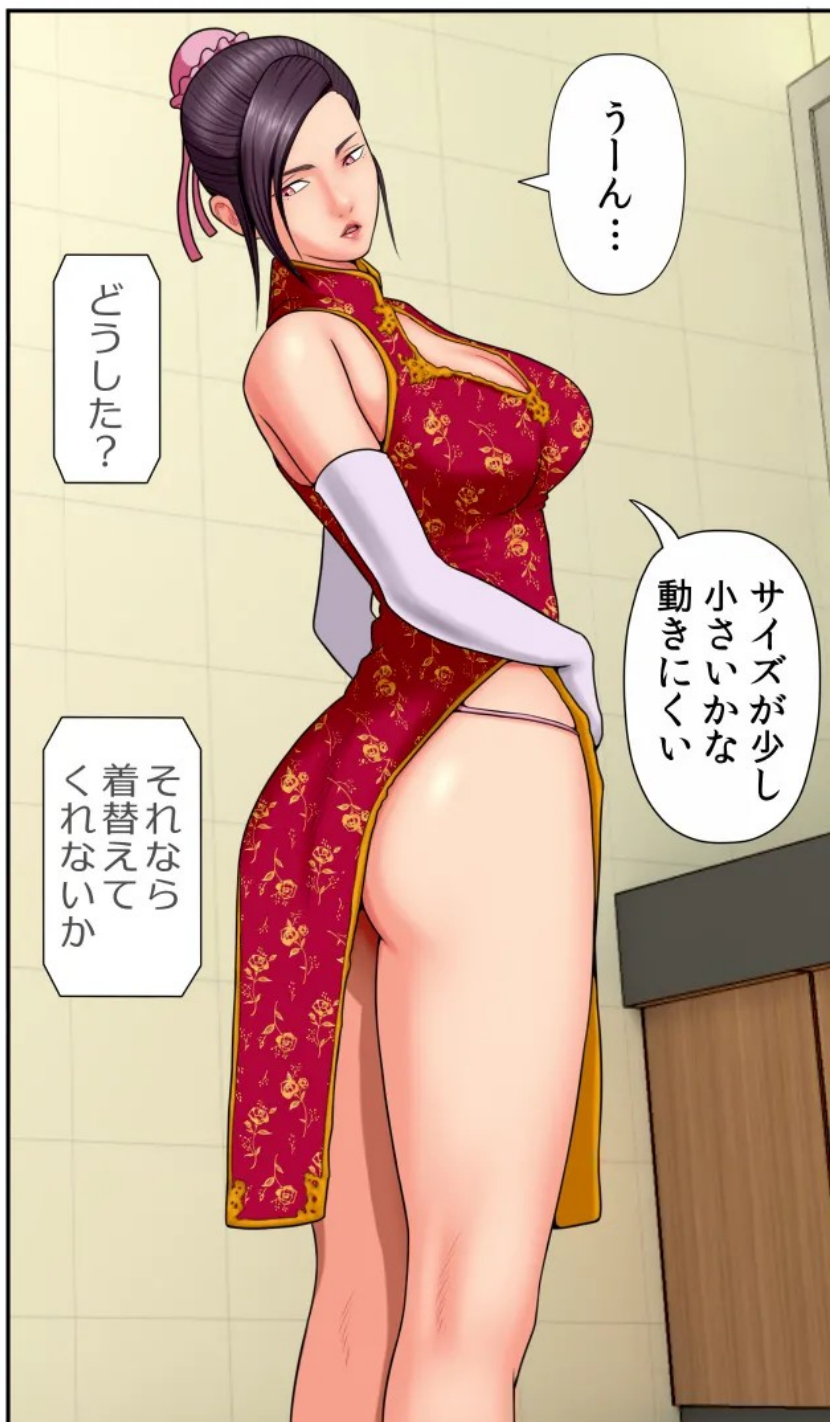
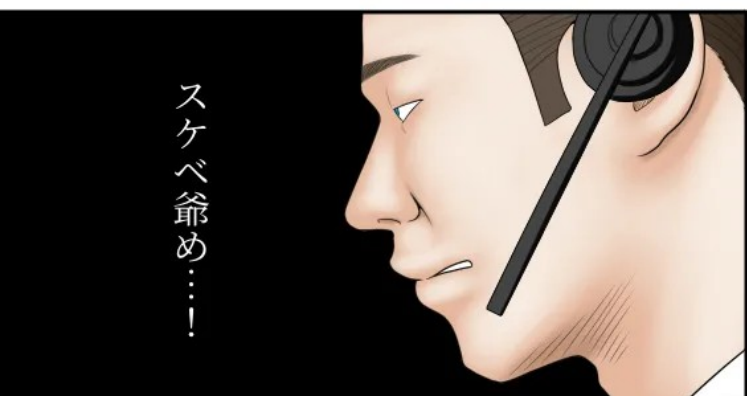
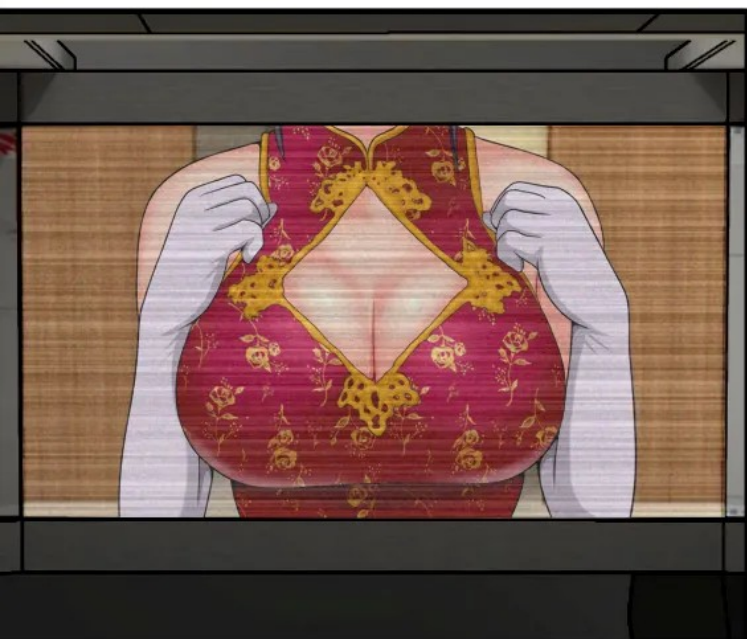
いいじゃない
何怒ってるのよ



なんだよ
その格好は！

ここの給仕係よ
似合うでしょ？







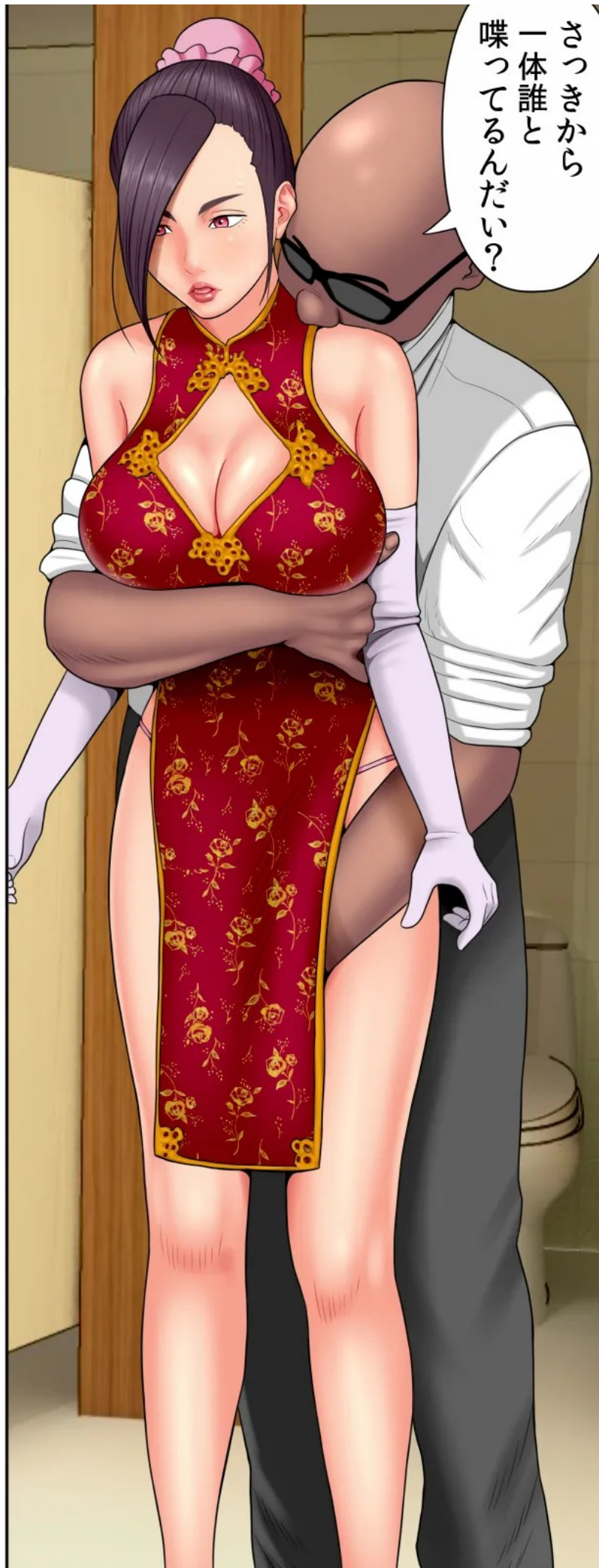
律子っ



あーごめんごめん
気が付かなかった



でも犯してから
殺してもいいと
思うんだよね
どう思う?





あつ

ダメツ...



抵抗したら
首の骨
折るからね

わい



やめて...あつ
そ、そんなとこ
ひつ、いやつ...
あつあつダメツ



おかしいぞ
なぜ抵抗しない

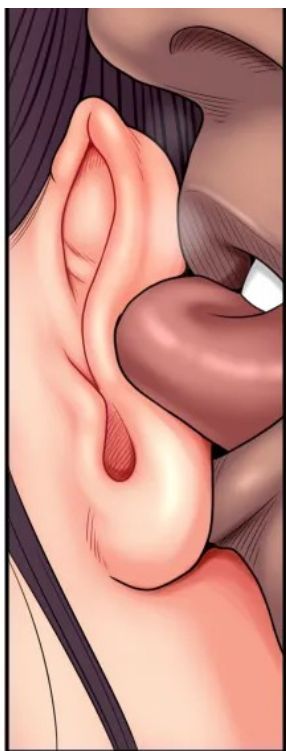
おいっふざけてるのかっ

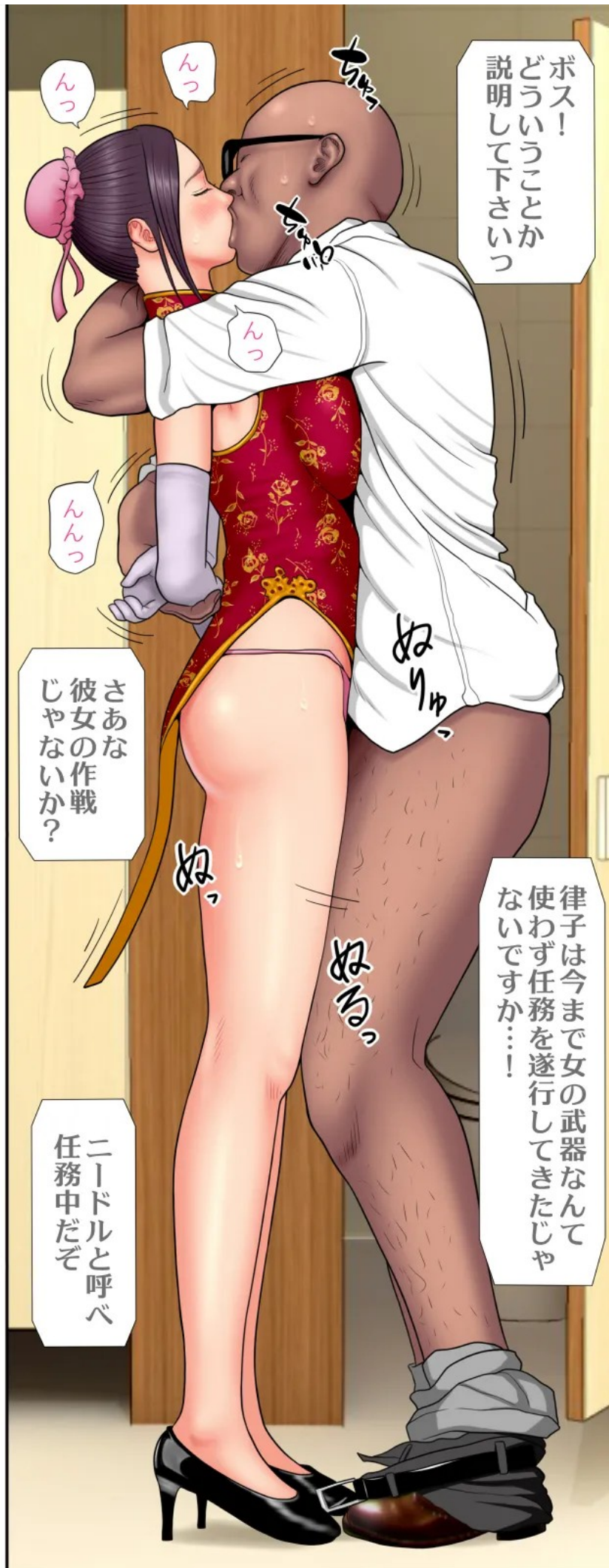


スケベな身体
してるな...
殺すには本当に
おしい...

お、お願い...
何でもするから
殺さないで

しりり







もつと詳しく

最低な野郎だよ
無類の女好きでさ...

ドンって
どんな方
なんですか？
ホッ



俺達部下に
誘拐させた女を
監禁してレイプ
ばかりしてる
クズ野郎だ

ミケーレ・
ルチアーノ



朝から晩まで
ひたすら
嫌がる女を
弄ぶんだよ

んんん
んもっ
んんん

グッ
グッ

グッ
グッ



あッ

あッ

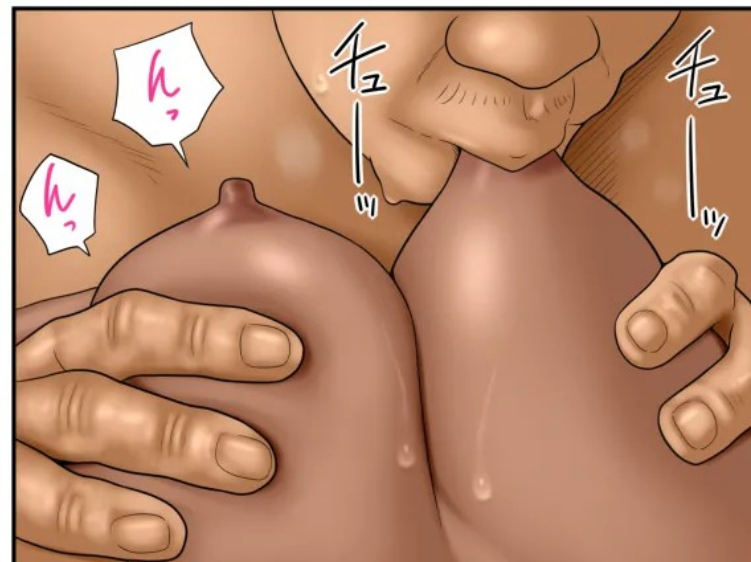
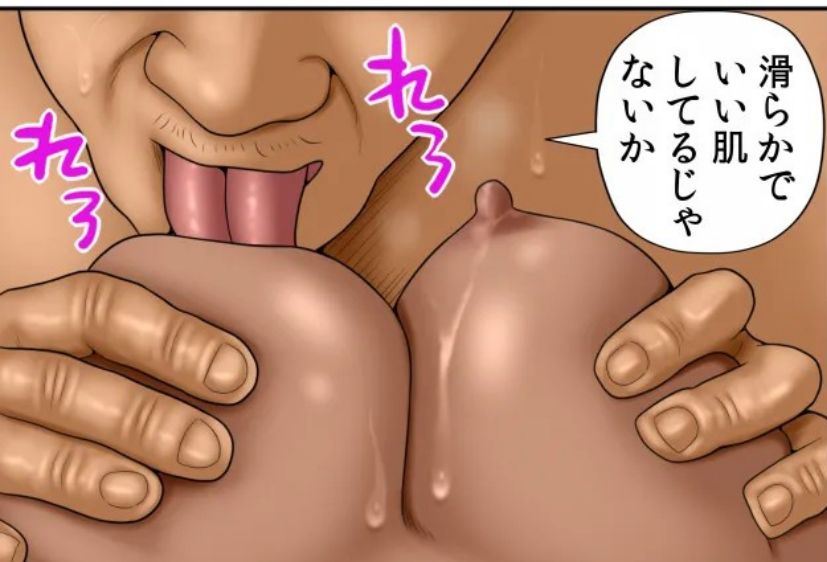


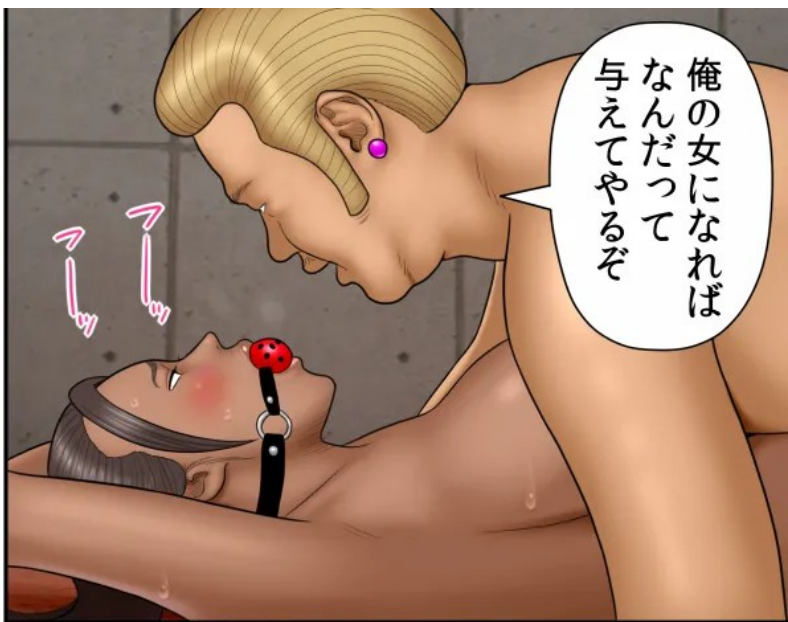
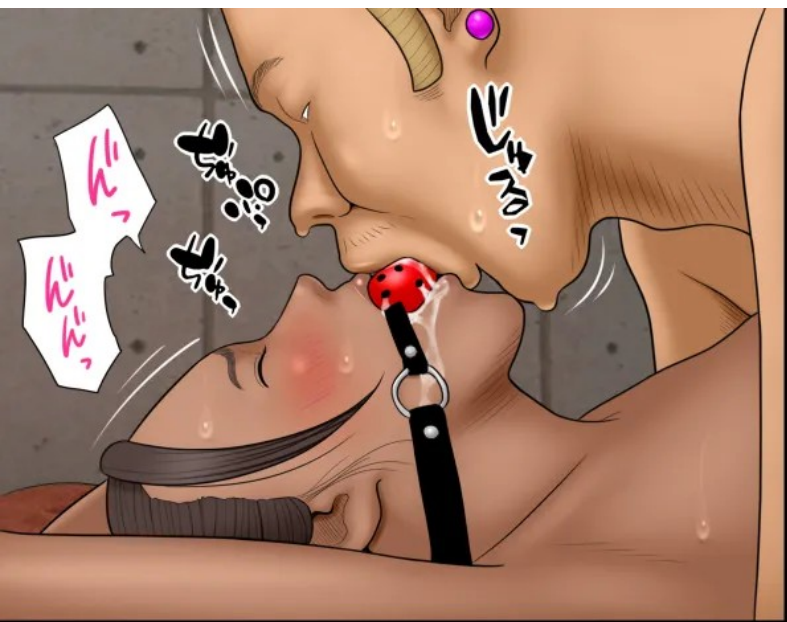
んッ

んッ

女が落ちるまで
続くんだ…

グッ
グッ





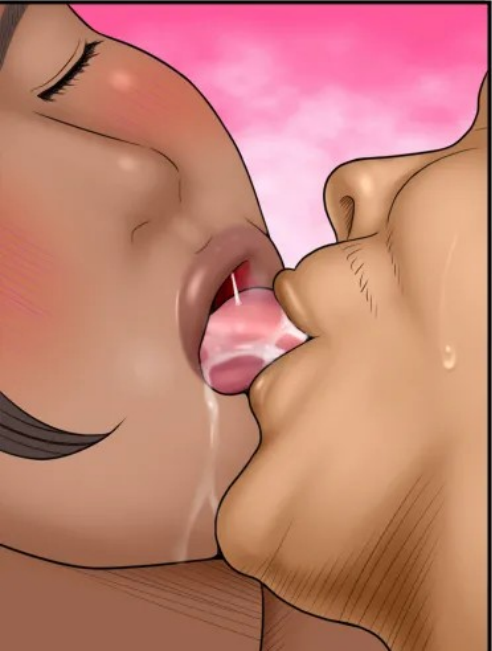
俺の女になれば
なんだって
与えてやるぞ



彼女：ルシアは
警察官なだけ
あつて中々
堕ちなかった

でもドンは
そういう
気丈な女が
好きなんだ

抵抗されれば
さされるほど
堕とし甲斐が
あるんだとよ



女を墮とすためなら
手段を選ばない

あっ

んっ

あっ

彼女は貧しい国で
生まれ育ったが
ドンは祖国にいる
彼女の両親に
豪華な家をプレゼント
したんだよ……



気に入って
もらったかな?

勿論彼女にも
しこたま金を
貢いでな

服でも何でも
欲しいものを
買い与えたんだ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



彼女は徐々に
堕ちていったよ…
でも抗えるわけ
ないんだよな

んっ

あっ

あんっ

家族も含め
生活がどんどん
豊かになって
いくんだから…



アッ

アッ

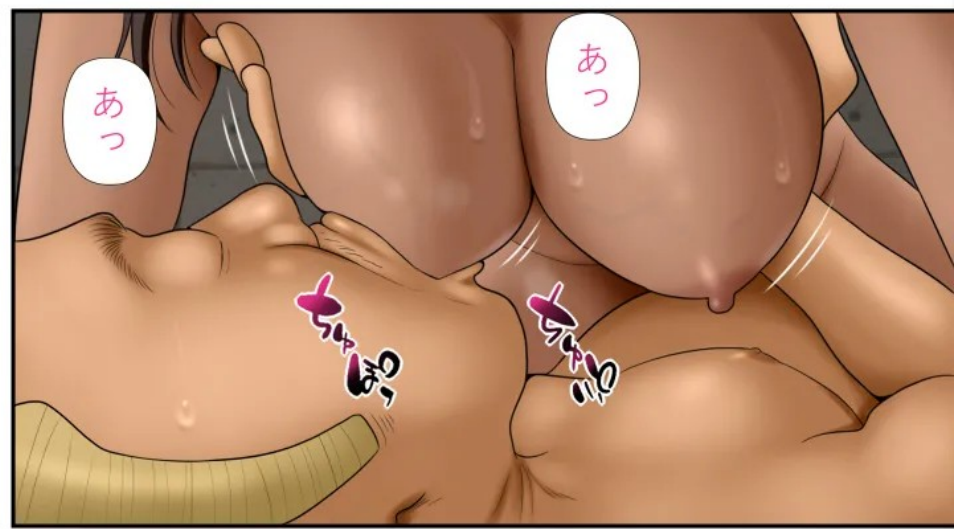
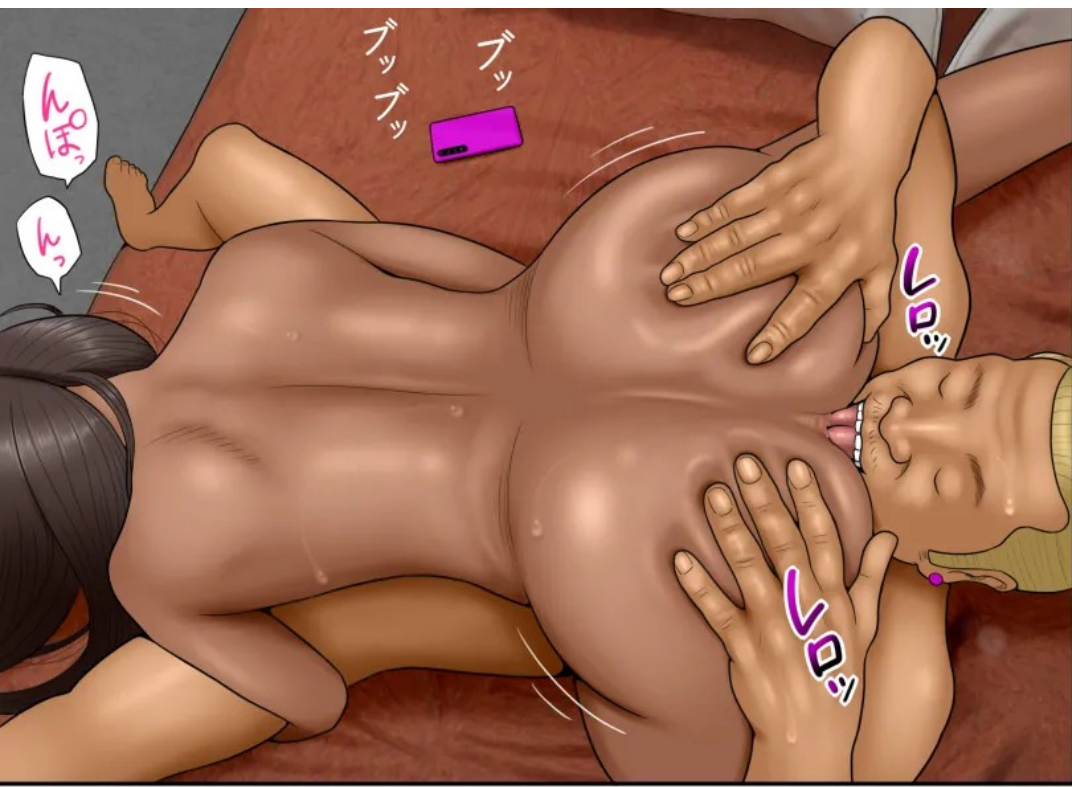
ハッ

ハッ

アッ

アッ





やっぱり世の中
金持ってる奴が
一番強いんだよ

でも羨ましくて
しかたなかった

ドンにはケチだから
俺らには抱かせて
くれないんだ



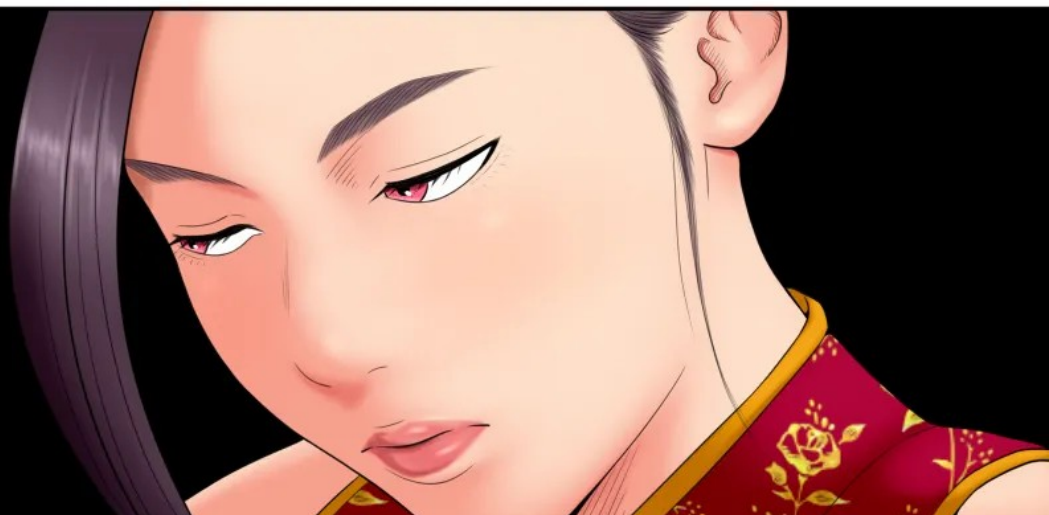
君みたいなの
気の強そうな
いい女……
ドンは絶対に
ほっとかない

悔しいけど
君もいずれ
餌食になるよ
その光景が
目に浮かぶんだ

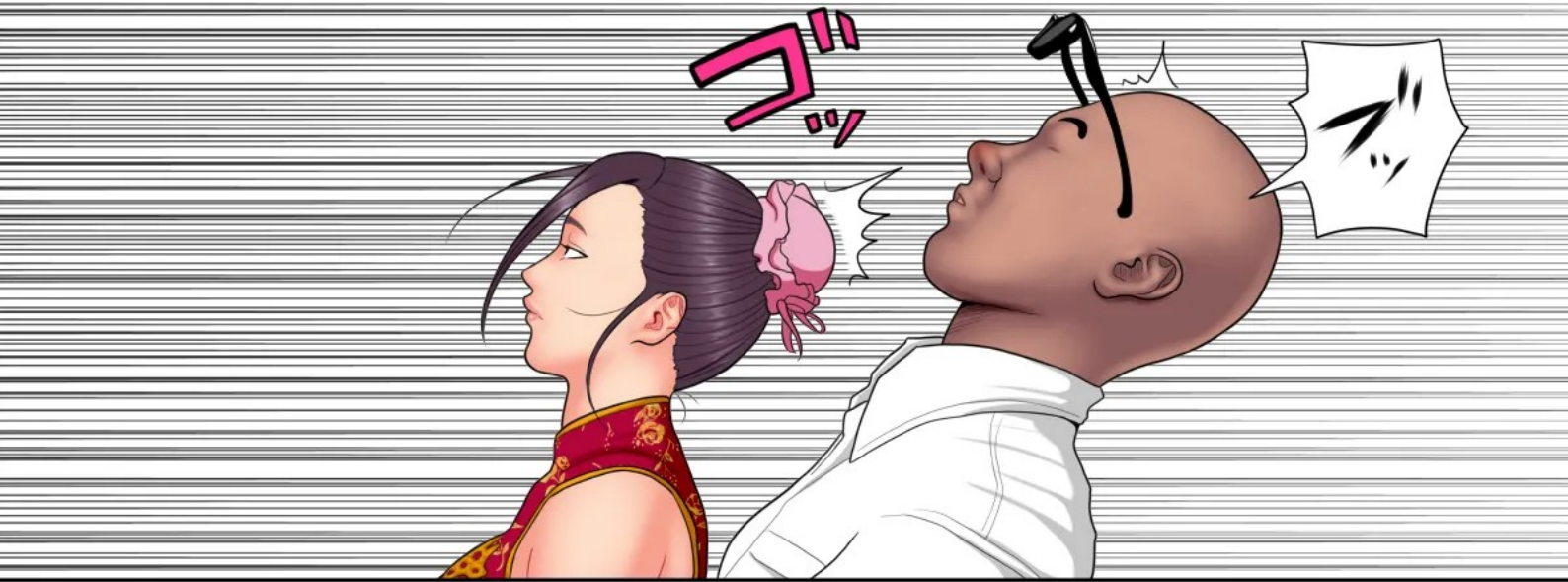




クズ野郎め…
八つ裂きに
してやる

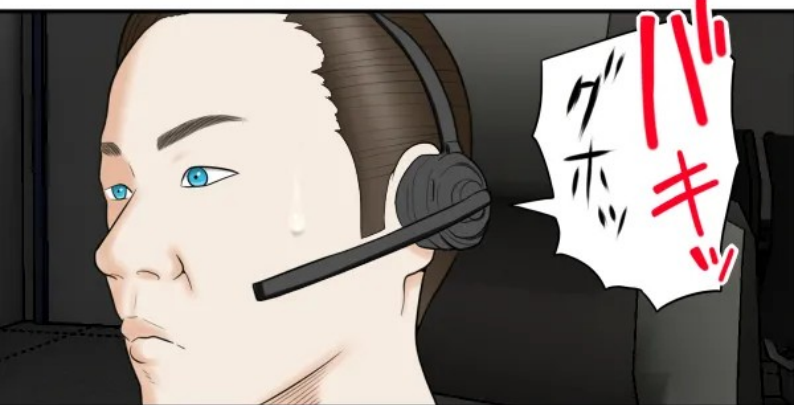






ゴッ

ッ



グッホッ
キッ



あッ

グッ
キッ



素直に吐けば
生かしてやる

た…助けて



ご苦労様

ハア
ハア

さ…最上階
五号室…



ここ、殺さない
でくれ…!

ミケーレは
どこにいる





